

資 料

収録資料について

◆資料1 試作拡大読書器の操作ボックスの使い方

省スペース型第1次試作器の操作ボックスについて、スイッチ等の位置と使い方を説明している。省スペース型第2次試作器及び構内可搬型第2次試作器の操作ボックスも同様の操作である。相違点は、省スペース型第2次試作器では、オートフォーカスのオン・オフボタンが、ワンタッチオートフォーカスボタンになり、構内可搬型第2次試作器では、右下のスイッチが外部カメラとのカメラ切り替えスイッチとして活用されたことである。

◆資料2 試作拡大読書器の試用課題

省スペース型第1次試作器の試用評価に用いた評価課題である。また、構内可搬型第2次試作器の試用評価においても、本課題に外部カメラの評価課題を追加して用いている。

◆資料3 試用拡大読書器に関するアンケート

省スペース型第1次試作器の試用評価後のアンケート用紙である。このアンケートが、その後の省スペース型第2次試作器や構内可搬型第2次試作器の試用評価のアンケートのベースともなっている。

【資料1】

試作拡大読書器の操作ボックスの使い方

■操作ボックス

1. 電源ボタン

ボックス左上のカバー付きのボタンです。押し込むと電源が入り、ボタン表面にPOWERと表示されます。

2. オートフォーカスボタン

ボックス右上のボタンです。1回押すとオートフォーカスがオンとなり、ボタン表面にAUTO FOCUSと表示されます。再度、このボタンを押すとオフになり、消灯します。

3. 表示モード切り替えスイッチ

オートフォーカスボタンの下の3段階切り替えスイッチです。上から、白黒反転(NEGA)、フルカラー(COLOR)、白黒(POSI)となっています。

4. フォーカス調節スイッチ

電源ボタンの下にある横に細長いスイッチです。オートフォーカス機能がオフの場合に使います。スイッチの左側を押すと、焦点距離が長くなり、右側を押すと短くなります。

5. ズームスイッチ

フォーカススイッチの下の、やはり横に細長いスイッチです。左側を押すと倍率が低下し、右側を押すと倍率が増加します。

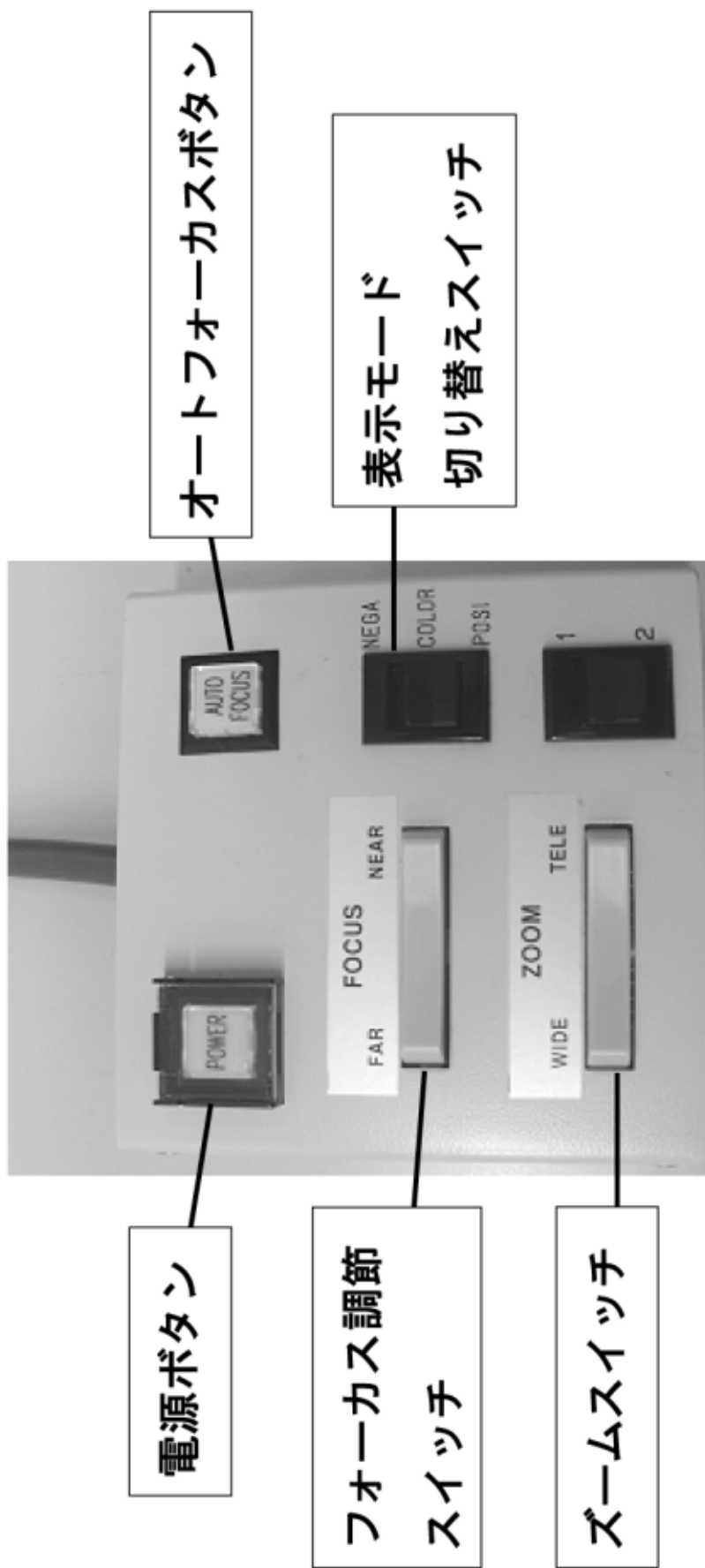
※ボックスの右下側の2段階スイッチには、現在機能は割り当てられていません。

■画面位置の調節

アームと画面を持って動かすと、前後・上下に画面位置を調節できます。また、画面の角度も調節できます。

■資料台 (X-Y テーブル) の調節

資料台手前中央のネジで水平方向、右側のネジで垂直方向の抵抗を変更して、動きを調節します。



操作ボックス

【資料2】

試作拡大読書器の試用課題

- オートフォーカス機能をオンの状態で、下の枠で囲まれた文章を資料台を動かしながら読んでみてください。
- オートフォーカス機能をオフの状態で、下の枠で囲まれた文章を資料台を動かしながら読んでみてください。

【白黒表示で】

せつぶん【節分】（セチブンとも）

季節の移り変わる時、すなわち立春・立夏・立秋・立冬の前日の称。特に立春の前日の称。この日の夕暮、柊（ひいらぎ）の枝に鯛（いわし）の頭を刺したものを戸口に立て、鬼打豆と称して炒った大豆をまく習慣がある。

【白黒反転表示で】

ひなまつり【雛祭】

3月3日の上巳（じょうし）の節句に、女兒のある家で幸福・成長を祈って雛壇を設けて雛人形を飾り、調度品を具え、菱餅・白酒・桃の花などを供える祭。雛遊び。ひいなまつり。（『広辞苑第五版』から）

※次ページに続きます。

■オートフォーカス機能をオフの状態、下の3行を読みやすい文字サイズにして読んでください。
必要な場合には、フォーカスを調節してもかまいません。

季節の移 り変わる時、

すなわち立春・立夏・立秋・立冬の前日の称。特に立春

■見やすい倍率と表示モードにして、あなたの氏名と住所を書いてみてください。

氏名 _____

住所〒 _____

■別に用意されているカラーパンフレットを、フルカラー表示で見てください。
見やすいでしょうか。回答は、アンケート用紙にご記入下さい。

※お疲れさまでした。以上です。

【資料3】

試用拡大読書器に関するアンケート

■全般的な質問

1. 氏名、年齢、性別をお書きください。

氏名 _____ 歳 男・女

2. 障害原因をお書きください。

3. 左右の視力（矯正可能な場合は矯正視力）をお書きください。

左眼 _____

右眼 _____

4. 中心視野の欠損がありますか。

左眼 ある・ない

右眼 ある・ない

5. 周辺視野の欠損がありますか。

左眼 ある・ない

右眼 ある・ない

6. おわかりになる範囲で、現在使用している拡大読書器のカラー・白黒の別、メーカー、型式をお書きください。複数使用されている場合は、使用頻度の高い順にお書きください。

- ① カラー・白黒 _____
- ② カラー・白黒 _____
- ③ カラー・白黒 _____
- ④ カラー・白黒 _____

7. 通常もっともよく使う表示モードはどれですか。

- a.フルカラー b.白黒（通常） c.白黒反転 d.その他（ _____ ）

8. 拡大読書器の1日の平均使用時間をお書きください。

1日 _____ 時間程度

9. パソコンやワープロを使う場合、TFT液晶ディスプレイを使っていますか。

- a.いつも使っている b.ときどき使っている c.使っていない d.パソコンやワープロを使っていない

10. パソコンやワープロのディスプレイとして、CRT（ブラウン管）とTFT液晶とでは、どちらが見やすいですか。

- a.CRT b.TFT液晶 c.変わらない d.比較したことがない

■試作拡大読書器について

※字の見やすさについて

1. 現在もっともよく使っている拡大読書器と比較して、お答えください。

(1) フルカラー表示について

a.非常に見やすい b.見やすい c.変わらない d.見にくい e.非常に見にくい

(2) 白黒表示について

a.非常に見やすい b.見やすい c.変わらない d.見にくい e.非常に見にくい

(3) 白黒反転表示について

a.非常に見やすい b.見やすい c.変わらない d.見にくい e.非常に見にくい

2. 最大拡大倍率について

a.十分な倍率である b.もっと高倍率にして欲しい

3. 最小拡大倍率について

a.十分な倍率である b.もっと低倍率にして欲しい

4. 画面サイズについて

a.非常に大きい b.大きい c.ちょうどよい d.小さい e.非常に小さい

5. オートフォーカス機能がオンの状態で、資料を動かしながら文字を読んだときの文字のボヤケについて

a.気にならない b.少し気になる c.非常に気になる

6. オートフォーカス機能がオフの状態で、資料を動かしながら文字を読んだときの文字のボヤケについて

a.気にならない b.少し気になる c.非常に気になる

7. 字を書くとき、すぐに鉛筆やペンの先が見つかりましたか。

- a.すぐ見つかった b.少し時間がかかった c.非常に時間がかかった

8. オートフォーカス機能は便利ですか。また、その理由をお書きください。

- a.非常に便利 b.便利 c.どちらとも言えない d.不便 e.非常に不便

理由： _____

9. 操作ボックスの使いやすさについて

(1) オートフォーカスボタンのオン・オフはわかりやすいですか。

- a.非常に分かりやすい b. 分かりやすい c.どちらとも言えない d. 分かりにくい

e.非常に分かりにくい

(使いにくい場合はその理由をお書きください _____)

(2) 表示モード切替スイッチは使いやすいですか。

- a.非常に使いやすい b.使いやすい c.どちらとも言えない d.使いにくい

e.非常に使いにくい

(使いにくい場合はその理由をお書きください _____)

(3) オートフォーカスをオフにした場合に使う、フォーカス調節スイッチは使いやすいですか。

- a.非常に使いやすい b.使いやすい c.どちらとも言えない d.使いにくい

e.非常に使いにくい

(使いにくい場合はその理由をお書きください _____)

(4) 倍率調節スイッチは使いやすいですか。

- a.非常に使いやすい b.使いやすい c.どちらとも言えない d.使いにくい

e.非常に使いにくい

(使いにくい場合はその理由をお書きください _____)

10. 資料台の動きは資料台前面の2つのネジで調節しますが、この調節機能は使いやすいですか。

- a.非常に使いやすい b.使いやすい c.どちらとも言えない d.使いにくい

e.非常に使いにくい

使いにくい場合はその理由をお書きください _____)

11. 資料台の大きさについて

a.非常に大きすぎる b.大きすぎる c.ちょうどよい d.小さすぎる e.非常に小さすぎる

12. 画面の高さ調整機能の必要性について

a.ぜひ必要 b.あった方がよい c.どちらとも言えない d.ない方がよい e.不要

13. 画面の角度調節機能の必要性について

a.ぜひ必要 b.あった方がよい c.どちらとも言えない d.ない方がよい e.不要

14. アームを活用した省スペース化について

a.ぜひ必要 b.あった方がよい c.どちらとも言えない d.ない方がよい e.不要

15. 現在使っている拡大読書器と比べて、読書時の姿勢は楽ですか

a.非常に楽 b.楽 c.どちらとも言えない d.つらい e.非常につらい

16. 上記以外に気づいた点や、さらに改良した方がよい点など、ご自由にお書きください。

※以上です。ご協力ありがとうございました。

視覚障害その他の理由で活字のままではこの報告書を利用できない方のために、営利を目的とする場合を除き、「録音図書」「点字図書」「拡大写本」等を作成することを認めます。

その際は、下記までご連絡下さい。

障害者職業総合センター 企画部企画調整室

電 話 043-297-9067

FAX 043-297-9057

なお、視覚障害者の方等でこの報告書（文書のみ）のテキストファイルをご希望されるときも、ご連絡下さい。

調査研究報告書 No.51

ユーザニーズに基づいた拡大読書器の開発

編集・発行 日本障害者雇用促進協会

障害者職業総合センター


〒261-0014 千葉県美浜区若葉3-1-3

TEL: 043-297-9067

FAX: 043-297-9057

発行日 2002年9月

印刷・製本 中栄印刷工業株式会社



NATIONAL INSTITUTE OF VOCATIONAL REHABILITATION

I S S N 1340-5527